

「おたる」のこれからのまちづくりについて考える

小樽市民会議 100 報告書

～ 第7次小樽市総合計画の策定に向けて ～

平成30年1月



目次

「小樽市民会議100」の概要	1
----------------	-------	---

会議の様子

第1回	これまでの「おたる」をふりかえる 今の「おたる」のいいところ・わるいところ	2
第2回	10年後、こんな「おたる」にしたい	3
第3回	10年後の「おたる」を提案しよう	4
第4回	「アクションプラン」を考える	6
第5回	「おたる」のみらいづくりのアイデア ～アクションプランを仕上げよう～	10

グループワークの結果

第1回	「おたる」のいいところ・わるいところ	12
第2回	10年後、こんな「おたる」にしたい	26
第3回	10年後の「おたる」を提案しよう	36
第4回～第5回	アクションプラン	41



「小樽市民会議 100」の概要

目的

「小樽市民会議 100」は、新しい総合計画策定に当たって、市民の皆さんの意見・意向を把握して計画に反映させることと、参加者が、まちづくりについて理解を深めながら自由に意見を出し合うことで「実りある場」となることを目的として、高校生以上の方を対象に開催しました。

なお、新しい総合計画の期間中に市制施行 100 年を迎え、新たな 100 年のスタートとなること、協働によるまちづくりを進めるために 100 人の参加を目指す、など「100」という数字に様々な思いを込め、「小樽市民会議 100」とネーミングしました。



会議内容

(会場：小樽経済センター7F ホール)

回/開催日	テーマ	内容
第1回 6月3日(土)	これまでの「おたる」をふりかえる 今の「おたる」のいいところ・わるいところ	・基調講演「小樽の人々と小樽の街」 ・グループワーク 「おたる」のいいところ・わるいところ
第2回 6月24日(土)	10年後、こんな「おたる」にしたい	・グループワーク 10年後、こんな「おたる」にしたい
第3回 8月5日(土)	10年後の「おたる」を提案しよう	・特別講演「住み続けられるまちづくり」 ・グループワーク 10年後の「おたる」を提案しよう
第4回 9月23日(土)	アクションプラン（実際に動かしていくこと）を考える	・グループワーク それぞれのテーマについて、各グループで深掘りして議論する
第5回 10月21日(土)	「おたる」のみらいづくりのアイデア ～アクションプランを仕上げよう～	・グループワーク アクションプランの確認、仕上げ

第1回

これまでの「おたる」をふりかえる
今の「おたる」のいいところ・わるいところ

日時：6月3日(土) 13:00~16:00
参加人数：79人

まず、小樽市総合博物館 石川館長による基調講演「小樽の人々と小樽の街」を行い、小樽の特徴的な歴史について振り返りました。



<基調講演の様子>

その後、参加者が5~6人ずつの15グループに分かれ、《「おたる」のいいところ・わるいところ》をテーマに、自由に意見を出し合うグループワークを行いました。



<グループワークの様子>



<グループワーク結果の例>

それぞれが黄色のふせんに意見を書き、近い意見をまとめてピンクのふせんにタイトルをつけました。

第2回

10年後、こんな「おたる」にしたい

日時：6月24日(土) 13:00~16:00
参加人数：60人

まず、第1回のグループワークの結果を振り返りました。



<グループでの振り返りの様子>

第1回 グループワーク結果 賛否の多い意見(意見の内容)		資料2
1. 生活基盤	<p>生活基盤が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活基盤が充実している 生活基盤が充実している 生活基盤が充実している 	<p>生活基盤が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活基盤が充実している 生活基盤が充実している 生活基盤が充実している
2. 産業振興	<p>産業振興が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興が充実している 産業振興が充実している 産業振興が充実している 	<p>産業振興が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興が充実している 産業振興が充実している 産業振興が充実している
3. 子育て・教育	<p>子育て・教育が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て・教育が充実している 子育て・教育が充実している 子育て・教育が充実している 	<p>子育て・教育が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て・教育が充実している 子育て・教育が充実している 子育て・教育が充実している
4. その他	<p>その他が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> その他が充実している その他が充実している その他が充実している 	<p>その他が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> その他が充実している その他が充実している その他が充実している

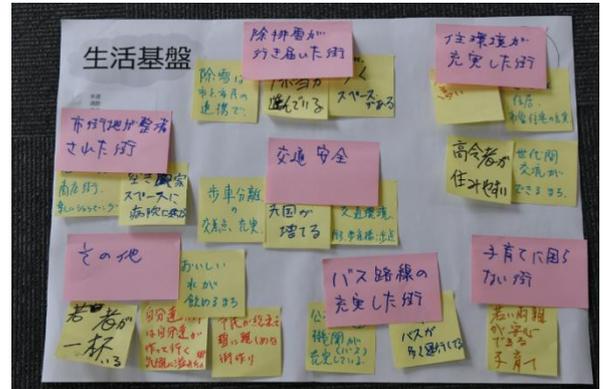
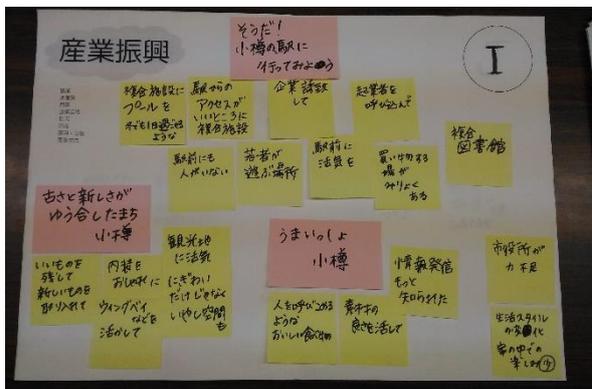
第1回 グループワーク結果 賛否の少ない意見(意見の内容)		資料3
1. 生活基盤	<p>生活基盤が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活基盤が充実している 生活基盤が充実している 生活基盤が充実している 	<p>生活基盤が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活基盤が充実している 生活基盤が充実している 生活基盤が充実している
2. 産業振興	<p>産業振興が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興が充実している 産業振興が充実している 産業振興が充実している 	<p>産業振興が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興が充実している 産業振興が充実している 産業振興が充実している
3. 子育て・教育	<p>子育て・教育が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て・教育が充実している 子育て・教育が充実している 子育て・教育が充実している 	<p>子育て・教育が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て・教育が充実している 子育て・教育が充実している 子育て・教育が充実している
4. その他	<p>その他が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> その他が充実している その他が充実している その他が充実している 	<p>その他が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> その他が充実している その他が充実している その他が充実している

<第1回のグループワーク結果のまとめ資料>

その後、参加者が6人ずつの10グループに分かれて、グループワークを行い、《10年後、こんな「おたる」にしたい》をテーマに、なしてほしいまちのイメージを自由に出し合いました。



<グループワークの様子>



<グループワーク結果の例>



＜グループワークの様子＞



＜グループワーク結果の例＞

「10年後のおたる」を実現するためのアイデアについて、黄色いふせんに「何をするか」を、ピンクのふせんに「誰が、どうやって」を記入し、実施場所をイメージして、地図に落とし込みました。

会議の最後には、グループワークの内容について発表を行いました。



＜各グループ代表の発表の様子＞

第4回

「アクションプラン（実際に動かしていくこと）」を考える

日時：9月23日（土）13:00~16:00
参加人数：45人

前回に引き続き、瀬戸口教授にお越しいただき、6つのテーマ（7グループ）に分かれてグループワークを行いました。

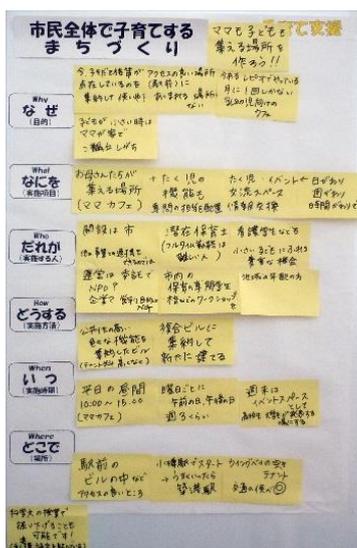
まず、前回のグループワークの結果について振り返り、それを基に具体化したい取組を絞って、「5W1H」の枠組みで内容を肉付けして「アクションプラン」としてまとめ、グループごとに発表しました。

生涯学習 ・歴史的建造物の活用（市民ツアーなど） ・市民全体で子育てするまちづくり（町内会の関わり、子どもの居場所など） 【子育て支援と共通】	市民福祉 ・高齢者が安心して暮らせる環境づくり
子育て支援 ・市民全体で子育てするまちづくり（町内会の関わり、子どもの居場所など） 【生涯学習と共通】	生活基盤 ・地域公共交通の充実 ・空き家の活用
産業振興 ・企業誘致や起業家の育成 ・新しい観光の開発	環境保全 ・海や海岸など自然を生かしたまちづくり

＜グループワークのテーマ＞



＜グループワークの様子＞



＜グループワーク結果の例＞



＜各グループ代表の発表の様子＞

グループ発表の後、瀬戸口教授の進行で、全体の意見交換を行いました。



瀬戸口教授：

今日のテーマの中で、これからできそうなことが2つありました。
1つは、居場所づくり。子どものママカフェだとか、お年寄りの居場所を作ろうという話。
もう1つは、観光をどうやって振興していくかということです。
この2つについて、今日をスタートに、是非これからも皆さんにいろいろ考えてほしいと思います。

居場所づくりについて

瀬戸口教授：

ママカフェなど考えたときに、ネックになるのが場所です。空き家の活用について提案がありましたが、その場所をどうやって作るのか。具体的に、誰がその居場所を作るかについて、皆さんで少し考えていただきたいと思います。

居場所づくりは、市役所でやるといろいろ難しい所があります。誰かにやってもらわなければならないですけども、皆さんで、ちょっと、やってみませんか？

参加者の意見

- どこか適当な場所がないか、知り合いに相談してみようと思う。
- やりたいと思うが、情報が無い。是非、情報を集めていただきたい。
- 自分の商店街も空き店舗で困っているようなので、空き店舗の活用について提案してみようと思う。

瀬戸口教授：

空き家だからといって、必ずしも住宅として使わなければいけないということはないんです。居場所なり、場所をどう使うか、これから皆さんに真剣に考えてほしいと思います。これはできると思います。そんなに難しいことじゃないと思いますので、是非やってみてください。

観光振興について

瀬戸口教授：

小樽は、観光の話を抜きに議論はできないと思ってます。現在の小樽の観光は、運河周辺に片寄っていますよね。先ほど発表にあったとおりだと思います。

先ほどから、いろんなテーブルを回っていると、「小樽にいいところがたくさんある」と皆さん言っているんですよ。「観光」以外に、「自然環境」の話の中でもたくさん出ていました。

それから、歴史的建造物もたくさん出ていましたよね。皆さん自身は、そう思っているけど、外の人に伝えたりはしていないですよね。是非、皆さんで情報を集めて新しい観光ルートを作って、発信してはどうでしょうか？



参加者の意見

- 小樽の観光資源に石造りの倉庫がある。これらの多くは、個人所有なので行政からの補助金は難しい。小樽の事業者で拠出金を集めるなど、商工会議所などが主体になって観光資源を守ってほしい。
- 青年会議所が、「北運河ルネサンス」というイベントを運河公園周辺でやり、今年は旧手宮線でトロッコを走らせたりもして、観光が広がるいいことをしてくれたと思う。

瀬戸口教授：

小樽の観光は、イメージが固まりすぎてますよね。本当はもっといろいろなものがあるのに、もったいない。是非、それを、これから皆さんが開拓していただきたいと思っています。

これから、個人旅行が増えてきますから、小樽の新しい観光のスタイルが是非求められてくると思います。「こういう観光の仕方があってもいいんじゃないか」というアイデアをお持ちの方はいらっしゃいますか。

参加者の意見

- マップ上ではなく本当の道路に足跡をつける。例えば、有名建築物の100m手前から、青とか緑の足跡をつけておいて、ふらっと、目的地に歩いているときに青い足跡が出てきて、その足跡についていったら、カフェとか喫茶店とか。そういうのを作っていったらいいな。

瀬戸口教授：

いいね。その辺を歩いていたら足跡が出てくると。そうですね。若い発想って大事ですね。是非そういうのも活用していただきたいと思います。

瀬戸口教授：
他にもありますか？

参加者の意見

- ・小樽には昔たくさん市場がありました。宿泊型の観光を目指すなら、市場が必要だと思います。函館のように朝市をやれば、新しい魅力がそこに生まれると思いますので、北運河周遊に朝市を入れていきたいと考えております。

瀬戸口教授：

今の若い世代は、市場を知らない人が多いでしょ。今の学生は、小樽運河の経緯も知らないですよ。でも、小樽っていろんな物語があるので、観光などを通じて伝えていてもらいたいと思います。

今日、私が申し上げたいのが、皆さんといろいろ考えたことですが、それぞれのテーマで、バラバラにはじめました。だけど、つながって行きます。皆さん小樽のことを考えていくと、最初の入口は違っていても、出口は似てくるんです。やることは、皆さん、近くなってくるんですね。

今回は、2つ取り上げて話しましたが、すぐできそうなことがありますので、もし機会があれば、「これは自分達でやる」って、場面を作っていただきたいと思います。

市役所をあてにするのではなく、是非、そういうような、アクションを起こしていてもらいたいです。

前回と、今回このワークショップにお邪魔させていただきまして、小樽の議論というのは、全国で一番活発だったと思います。皆さんが、小樽を好きだからだと思いますね。小樽を何とかしたいと思ってらっしゃるから、こういうような活発な議論が出てくるのだと思います。是非、これから議論だけじゃなくて、何か一つでも行動に起こして頂きたいと思います。どうも本当にありがとうございます。



第5回

「おたる」のみらいづくりのアイデア
～アクションプランを仕上げよう～

日時：10月21日(土) 13:00～16:00
参加人数：39人

前回作成したアクションプランの仕上げ、発表を行いました。



<発表の様子>

グループ発表後に、アクションプランに対して、「アイデア」と「実現可能性」の2つの軸で評価し、優れていると思うプランへ投票を行いました。



<投票の様子>



<投票結果の例>

各グループから提案いただいたアクションプランについて、市長からコメントをいただきました。



<市長からのコメントの様子>



<第5回参加者の集合写真>

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ

【グループワークの概要】

参加者が5～6人ずつのグループに分かれ、今の小樽の「いいところ（強み・魅力・資源）」と「わるいところ（解決すべき課題・弱み）」について、自由に「意見」を出し、近い内容の「意見」をまとめて「タイトル」をつけ、大事だと思う「タイトル」に投票しました。

「意見」のまとめ方や「タイトル」の付け方は各グループで様々でしたので、各グループの「意見」と「タイトル」をそれぞれ第6次総合計画の5つのテーマ及びその他に分類し、「意見」を「資料①」に、「タイトル」を「資料②」に整理しました。

意見や投票数が多かったものを「参加者に広く共有されている認識」として捉えると、次のような「小樽の主な特色や課題」が浮かび上がってきました。

○ 小樽は「自然環境が豊かで、食べ物がおいしいまち」

海と山など自然環境が豊かで、水や海産物などがおいしい、という意見が多数ありました。

○ 小樽は「歴史があり、景観が良い、観光資源が豊かなまち」

歴史・文化がある、歴史的建造物が多数、イベント・お祭りが多く、などが「いいところ」として多く挙げられました。なお、観光客の行き先の偏りや、夜のにぎわいなど、観光の課題についての意見もありました。

○ 小樽は「住みやすく、街の雰囲気が良い」

バス路線が多い、災害が少ない、市場が多い、札幌に近いなど「住みやすい」とする意見が複数ありました。なお、病院・交通・買物・市民については、いいところ・わるいところ両方で意見がありました。

○ 小樽は「子育て環境、除排雪、雇用、商業施設などの生活環境が課題」

産婦人科が少ない、除排雪が悪い、交通の便が悪い、買物が不便、働くところがない、公園が少ない、公共施設が古いなど、市民生活に関する課題が多く挙げられました。

○ 小樽は「人口減少や行政が課題」

若者などの人口減少や、行政の力不足が課題だとする意見も挙げられました。

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料①・意見の内容）

参加者の意見をまとめて、第6次総合計画の施策体系に分類したものです。
意見右側の（ ）内の数字は、同じ意見の数を表しています。

↓ いいところ ↓

↓ わるいところ ↓

1 生涯学習（教育・文化・スポーツなど）

学校・教育	
小樽商科大学がある（3）	子どもの学力が低化している（2）
いいところを取り組む学校と応援してくれる市民の方々	学校さむい！
大学、高校が多い	人口の割合 大学が少ない
	小樽の歴史などを小中学校で教える
	商大生と取組で事業活性化
	小学校が少ない（合併など）
	通学費補助全員に
	通学路が無い、長い
	学校を減らさないこと
	学校の先生が大変な世の中 一生懸命でも種々云われ仕事が増え、今後外国語の勉強も大変ネ
	商大生にどんどん活やくしてほしい
	学校の教育をもっと見直すべきだ
社会教育	
美術館関連連施設が多い！	図書が少ない 学校など
博物館、美術館が多い	文化（絵や本）面の充実を!!特に文学館、図書館
水族館がある～～♡♡	図書館のさらなる充実
	銭函にいたので図書館が遠い
	図書館が魅力的でない
	生涯学習センターの駐車スペースが狭すぎる。何か工夫がないか
	図書館の本が痛んでいる
歴史・文化・芸術	
歴史が古い（2）	市民グループの交流場所 札）エルプラザみたいな
独自の文化	文化が衰退している
ニトリ芸術村の様に生かす人をさがし、他にも施設をつくる	文化活動が貧弱です
石原裕二郎記念館を閉館しないで引き継ぐ人を探す	音楽（コーラス）合唱が練習できるおしゃれな場を
歴史、文化がある	児童館やサークル活動できる施設が不足
演劇や音楽、ボランティアなどサークルや文化活動がさかん	多目的な中・小ホールがほしい。おしゃれで
有形無形財産が多い	市民ホールを新しくしてもらいたい
町内など文化がある	海を遊びの場として活用できていない
スポーツ・レクリエーション	
スキー場が近い（4）	スポーツ施設が少ない（2）
スキーで有名な天狗山がある	公営のプールがない（5）
温泉もスキー場もゴルフ場もある	山の中の遊歩道が未整備
	体育系の大会があっても駐車場が少ない
	安くスケボー練習する場やスポーツ楽しむ場ない
	スポーツの強いのがあまりない
	グラウンドがせまい
	子供の教育にはスポーツも大切であり、市はスポーツには無関心な気がする
その他	
—	学生のマナーが悪い

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料①・意見の内容）

↓ いいところ ↓

↓ わるいところ ↓

2 市民福祉（福祉・子育て・医療など）	
地域福祉	
—	福祉を受けている人々に生活一般を自ら反省し努力し、普通の住民も大変努力している事も分かるように考えて欲しい
子育て支援	
保育園、幼稚園苦勞せず入園出来た	保育料2人目以降の減免
札幌に近く、教育施設が多くある（子育てに恵まれる）	子育てが孤育てになりそう
	子連れカフェが少ない
	待機児童の問題 保育園など
	保育充実してない
高齢者福祉	
ふれあいパス（2）	年よりの事よく考えてない
高齢者に対しては市政が行き届いている	わがままな高齢者が多すぎる
お年寄りを活用できる土壌がある	自分の事は自分でできるのにしない高齢者
皆さんシルバーさんに親切です	高齢者の入居できる施設が少ない。中心部に少ない
ふれあい収集はいいですね	シルバー年代のボランティアのこうけんが少ない
	高齢者のいこいの場所を（ポストの数ほど）
	高齢者に対するおもいやり
	独居者が心配、具合の悪い時は
	高れい者の杖の使用の多さ
	老人施設が少ない
	老人にやさしくない
	高齢者問題で生活保護の人が多い
	年金が減って、生活に不安
障がい者福祉	
—	車イスの方が観光しづらい
医療	
病院が多い（3）	産婦人科が少ない（8）
市立病院が患者が少ない	子どもを生むことができない
小さな医院の先生が親身になってくれる	市内病院駐車場3時間無料
	市立病院建物内がみたい
	大きな病院が一部の地域に集中
	病院の待ち時間長い
	小児科が少ない
	医療体制弱い

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料①・意見の内容）

↓ いいところ ↓

↓ わるいところ ↓

3 生活基盤（水道・住宅・除排雪・交通など）	
水道	
水がおいしい（9）	水道代が高い
お水が豊富（2）	
道路	
散歩できる道が多い（観光地など）	道路が狭い（2）
坂があって健康にいいところ	歩道橋の劣化がひどい（2）
道路の整備が比較的良い	道路が悪い（3）
	道路が汚い所がある（3）
	歩道が狭い
	道路に白線がしかれていないため、危険だ
	歩車分離の交差点が少ない
	道路の縁石が高すぎる（入船）
	坂道が多い（6）
	歩道橋（産業会館）を撤去し、安心安全な信号設置を。高齢者に優しく
	工事の一体制がない
住宅	
（大都市に比べ）地価が安い	空き家が多い（8）
	家賃が高い（5）
	土地が高い
	住むためのいい物件が少ない
	住所が分かりづらい
	近くに貸し別荘の貸し家がいくつかあり、外国人が住宅街に入り込み少し怖い
除排雪	
雪が多い、冬ほこりっぽくない	除排雪が悪い（17）
	冬の悪路（4）
	雪が多い（6）
	坂みちのロードヒーティング良くしてほしい
	除雪が大変
	観光街の除雪
	冬歩道がすべる
	坂が多いまちなのはいいことだけど住みやすく考えてほしい、交通や雪
	坂が多い、冬雪
市街地整備	
コンパクト（2）	小樽駅はパチンコ店が多い
新幹線の北廻り誘致決定 新駅は望洋台につくること	オタル駅前の整備が必要
	新幹線は要らない
	産業会館のリニューアルを。街の中心をさびれたままにしない

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料①・意見の内容）

↓ いいところ ↓

↓ わるいところ ↓

3 生活基盤（水道・住宅・除排雪・交通など）

交通	
バス路線が多い（10）	バスの本数が少ないなど、交通の便が悪い（9）
バス料金が安い（2）	小樽駅以外の駅が寂しい
飛行機、JR、フェリーとアクセスが充実している	JRの最終時間が早い →札幌方面
快速が特急並みに早いJR	JR交通のアクセス不便
小樽駅、築港駅はすばらしい	札幌から学生には意外と高い（JR）
JR始発	JR充実、住まいは小樽、会社は札幌を??
	南小樽駅の階段がきつい
	JR駅員がきにいらぬ
	バスの行先が分かりずらい
	JR終電早い
	移動手段が少ない
	高齢者にとってバスのステップが高い、乗りづらい
	冬バスが遅れる
	産業会館前のバス停留を復活して（山手線）
	交通網の改革をする
	市内に鉄道など公共の輸送機関を作るとよい。モノレールなど
	交通の問題。アクセスが悪い
	JRエアポート削るな！ 鉄路（住民の足）を大事に
	車が使えなくなったらどう生活していいかちょっと不安
	買物（免許無）に不便
	マイクロバスで良いから。大型いらぬ
防災	
災害が少ない（8）	—
住みやすいベース（地震、気候、自然）	
その他	
街が静かで、おちついている（3）	調理臭、徐雪音、（町内交流）
治安の良い（2）	街灯の電気がすくない



第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料①・意見の内容）

↓ いいところ ↓

↓ わるいところ ↓

4 産業振興（商業・観光・港湾・雇用など）	
農業	
地物野菜がある	市民農園が少ない
かぼちゃ、すいかetc うまい	
水産業	
海産物が美味しい（17）	海を活用していない（3）
海、水の魅力	漁業、後継者不足
水産加工品が豊富	
釣場がある	
商業	
市場が多い（8）	買物が不便（12）
イオンが大きい	店の閉店時間が早い（6）
スーパーが多いので買い物に困らない	スーパーやコンビニなど買い物できる場所が一部にかたまっていて、人によっては、行くのに時間がかかる
便利 身近に何でもある	
かくれた名店がある	南小樽のイオンがションボリしている
市の規模からみても魅力が多い（商業、観光）	市場の活性化、首都圏にメニュー販売
大きい書店がある	有名な専門店が少ない
	全国的に有名な産品が少ない
	市場なのに魚をさばかない
	長年利用している手宮市場の行く末が心配！
	店員各皆様にアルバイト・パートが多く、商品知識が薄く、昔の商店が懐かしい
	買い物ができる商業施設が少ない
	お店の人のあいそが悪い
	商店街が少ない、人通りが少ない
	名産がない
	デパートがない
	映画館が街中にない
	居酒屋少ない
	夜が早い
企業立地	
	企業が少ない（5）
	大きな企業の誘致がない

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料①・意見の内容）

↓ いいところ ↓

↓ わるいところ ↓

4 産業振興（商業・観光・港湾・雇用など）	
観光	
観光客が多い（4）	外国人観光客の受入態勢が悪い。外国語の表示をすべき（2）
イベント、お祭りなどが小樽付近で行われることが多い（9）	観光客の行先が片寄っている（3）
有名観光地（9）	観光地全体的に夜のにぎわいが少ない（2）
運河と観光がマッチングしている（4）	観光に頼りすぎ（2）
海水浴場がたくさんある（2）	宿泊施設が少ない（2）
小旅行に最適	観光者向けの大きな駐車場がない
観光の原石がまだたくさん有る	中国人が多すぎる
ロケに使われてる	海側に比べ山側（大学周辺等）の観光地が少ない
市民は観光客に親切	観光地に地元資本が少ない
何度きてもあきない町	観光地の整備良くする
	観光Pが少ない
	地元と観光目的の施設が分離しすぎ
	堺町通りの看板が大きすぎ
	観光PRいまいち
	観光地にあるトイレが汚れてる
	もっと観光客が寄れる店づくりを
	小樽の観光は運河と堺町通のショッピングだけか
	観光客用の導線が悪い
	価格の安いホテルが少ない
	観光客への”ほったくり”
港湾	
港がある（7）	立派な港湾があるが、十分活用されていない（2）
関西とフェリーでつながっている	（第3埠頭）港付近が汚れが目立つ
船旅がすぐできること	石狩港にあまりお金を使わない
自然港	商業港に軍港は似合わない
防波堤が良い	
雇用・労働	
—	小樽で働くところがない（16）
	高齢者の働く場がない（若い人も…）
	学生のアルバイト先が無い
国際交流	
海外との接点	姉妹都市が悪い ダニーデンは良い
外貨をかせげる	語学力が弱い

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料①・意見の内容）

↓ いいところ ↓

↓ わるいところ ↓

5 環境保全（自然環境・公園・都市景観など）	
自然環境	
海がある（9）	—
自然が多い（11）	
海と山がある（20）	
山近い。放課後スキーOK！	
スキー場から一気に海迄臨める所は無い！	
空気の良い町	
四季がある	
マリンブルーが見られる	
ごみ処理	
—	ごみのしより悪い
公園・緑地	
おたるの花 つつじがきれい（散歩で感じた）	公園の整備が良くない（3）
公園が多い	公園が少ない（7）
緑が多い	街の中を花で飾る
	小樽市の花「ツツジ」の木を増やす
	公園の利用が少なく感じる
	運河周辺の花だんの管理が出来ていない
	国定公園に人が集まらない
	街路樹で緑の街に
	家の花ダンが少ない
	サクラ古い
	桜の名所の桜が全部病気でかわいそう
都市景観	
古い建物が多く、心なごむ（3）	歴史的建物があるが、日本遺産指定の努力がない
都会では味わえない町並み（2）	施設の保全不十分
駅から海（船）が見える（2）	重要文化財の活用がない
歴史的建造物が多数（21）	旧手宮線の歴史を知らない市民が多い
夜景がきれい（4）	旧手宮線跡にトイレがない!!
古い建物が店舗として利用されてる（3）	小樽の建造物の活用の仕方が不十分
歴史ある街並み（4）	歴史的施設の活用が悪い
レトロな街並み（2）	
運河とその景観（2）	
坂の街（5）	
地域の特色がハッキリ。海、山、街…	
絵画の題材になってるものが多い	
道路ぞいのゴミなどがわりと目に入らない	
海・山、建造物などみどころいっぱい	
他のまちより情景が豊か！	
地形が良い	
活用出来る建物が残っている	
カワラ屋根	
神社が多い（3）	
教会が多い	
坂の街なので空間が広々している	

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料①・意見の内容）

↓ いいところ ↓

↓ わるいところ ↓

その他	
地理的環境	
札幌から近い（15）	札幌に近すぎる
北海道のイメージで小樽はかかせない	札幌市の驚異的な拡大の影響
都市部、地方、両方に近い	さむい
住みやすく調度良い	
ほどよく田舎	
涼しい	
少し足をのばせば更にニセコの大自然…少し足をのばせば札幌の都会が…	
杉の花粉がない！！	
内地に比べ涼しい	
人や街のイメージ	
誰とでも声かけできること（4）	親方日の丸意識が強い
人柄が良い（やさしい）（14）	セクト主義的なところが多いこと
小樽愛を感じる	なかなか世代交代が進んでいない（様々な職で）
きどら（り）ないところ	小樽の事を知らない人が多い
人がせわしなく生活していない。ゆったりしている	市政に守られている人より自分達で働いている人達がギリギリ
小樽商人のDNAがまだ残っている 世界職人学会	人材不足 特に政治家
のんびり	言葉がらんぼう、やさしさに欠ける
サカナクションやDai-oeという人気者を生んだ	市外の方がなじみにくい雰囲気がある
小林多喜二が有名	タバコマナー
人情が残っている街	若者小樽のことを知らない
若い力が発揮される	人が一見冷たい
人情の街	保守的である
関係がいつまでも続く（人間関係）	異世代交流が少ない
小林多喜二の存在	時により不親切
人情がこまやか	保守的
知り合いが多い	変わらない（変化を求めてない）
革新的である	ゆるる心がない
カッコ付けなくても良く楽	人間性よくない わるいところ
	積極性がない

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料①・意見の内容）

↓ いいところ ↓

↓ わるいところ ↓

その他	
人口減少	
人口規模くらしやすい	若者が少ない（10）
人口が少ない、つながりが多い	子供が少ない（2）
	人口減少（5）
	少子化
	年齢層のバランスが悪い
	老人と子供だらけ
	中心に人口を集めたい
市役所・議会	
市長が若い（2）	市と議会がケンカばかりしている（9）
市の職員の対応良い（4）	税金が高い（3）
小樽市民会議100を開催したこと！	公約が実現されない
市長の張り切っている様子がこれからの小樽を明るく前進して頼もしいです。ガンバッテ！	市役所の主体性のなさ、国と道のいいなりに 計画性のなし行き当たりばったり市せい
市役所にせよ、銀行にせよ、素晴らしい場所で仕事ができる	最近市の施設の借用条件のハードルが高くなっている
市役所を改築しない	夏の市役所があつい
	市役所正面の上り階段つらい
	市役所内が暗い（色々と・・・）
	イベントに市役所がもっとかかわってもらいたい
	市役所の職員は歴史を知らない
	市の職員は「まちづくり」に無関心
	市長
	市が貧乏
	住民税等も高い
	市は動かない
	市民の声が市政に反映されない
	役所が古い
	市役所の人が不親切
	市民の声が届かない
公共施設等	
小樽貯金事務センターがある（全道的施設）	公共施設が古い（4）
	駐車場が少なく分かりづらい（3）
	建物の用途がわからない
	平地の造成
	閉校（学校）の利用
	5号線に銀行が少ない
	公共施設の住民負担が高い
	北山中の後をどうするの？

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料①・意見の内容）

↓ いいところ ↓

↓ わるいところ ↓

その他	
その他	
住みやすいカナ？ 転居をくり返して	いっぱいありすぎて書ききれない
ふるさとである	あきが早い
	お金がかかる
	ギャップが激しい
	他地の良いところの取組
	新規取組、他地に後志の得意な交流
	平和が一番！！
	反対の声が多くなりすぎ取捨選択を協議できない場合がある
	行動する前に理由付けが必要である
	色々な団体が視察に行っているが、良い所を生かす視点が少ない
	市民にアピール出来る所がない
	基本、こうであるべきが多くて考え方が古い!!
	ウイングベイの税金の滞納
	小樽理美容学校がひどい！なんとかならないか。
	社長、店主等は地方都市の人が多い
	消費税特区を作る
	消費税をなくして消費を増やす。経済効果
	素材を活かしきれていない
	福利厚生が悪いではないか？
	第2の夕張にならないように、その為にマイカルの検証をお願いします。かかわった市長さんをお願いします。マイカルの税金はどのようになっていますか？
	昔のことを正しく伝えていない
	運河を正しく復元していない
	他市に比べ、前向きな企画がない
	若者が元気になれるものがない
	雨に対応しきれていない
	小樽の主産業 港か観光か？
	わりと物価が高い
	人力車がしつこい
	いろいろな市民会議があっても成果がない
	昔の良かったところを引きずって、なんとなかると思ってる
	ただ古い
	すばらしい小樽を評価できないでいる
	経済人の考えが古い

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料②・タイトル）

近い意見のまとまりに付けた「タイトル」を、第6次総合計画の5つのテーマに分類したものです。
★印は、重要だと思うものに投票を行った結果の票数です。

	いいところ	わるいところ
1 生涯学習 (教育・文化・スポーツなど)	歴史や文化がある ★★★	歴史 ★
	歴史 (3)	歴史
	文化的	教育環境が充実していない ★
	文化・レジャーを楽しめる	文化的、施設問題
	娯楽施設の充実化	教育にもっと予算を！！
	文化・レジャーを楽しめる	文化・スポーツ施設が充実していない
	—	文化施設の充実
		公共
		スポーツ施設がない
2 市民福祉など (福祉・医療など)	病院	高齢者が多い ★
	病院	高齢者が多い (2)
		生活保護受給者が多い問題
		高齢者の問題
	—	ボランティア
		高齢者の健康維持
		子育て環境 ★★★★★
		子育て
		子育て、子供関係
		子供にやさしくない
		福祉の充実を
		産婦人科が少ない
		産婦人科がたりない
		医療
		医療
3 水道・道路・生活・住宅・防災など (水道・道路・生活・住宅・防災など)	水がおいしい	空き家が多く家賃高い ★★★
	水がほうふ、おいしい	空き家家賃の高い問題
	住みやすさ ★★★★★	空家問題
	住みやすさ (経済的に)	住環境問題
	住みやすさ	道路の問題 ★
	コンパクト	道路問題
	地理	坂が多いので対策を
	札幌が近い	除排雪の問題 ★★★★★★★★★★
	交通機関 ★★★	除排雪の問題 (6)
	交通 (4)	雪が多い
	バス路線が多い	交通の問題 ★★★★★
	交通の利便性が良	公共交通機関
	住みやすさ	交通アクセス
地理的なアクセスが良い	交通	
小樽→札幌	交通不便	
公共乗物・公共施設	バス問題 (2)	
インフラが良い！	治安に不安がある	
災害が少なく治安が良い ★★	治安問題	
災害	生活 ★	
災害が少なく治安が良い	生活	
安全で安心な生活 ★	—	
安全安心		
生活		

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料②・タイトル）

	いいところ	わるいところ
4 （産業・観光・港湾・雇用など）	食べ物がおいしい ★★★★★★★★★★★★	経済や雇用 ★★★★★★★★
	食が充実（3）	経済の活性化
	食べ物（4）	経済
	食材がおいしい	若い人の仕事が少ない（2）
	食べ物おいしい（4）	仕事
	おいしい物がたくさん	働く場所ない（2）
	市場文化	雇用問題
	市場文化	一次産業の将来が不安
	観光資源が豊か ★★★★★★★★	人材活用
	観光（2）	観光の課題や問題点 ★★★★★★
	観光客が多い	観光の課題（4）
	観光資源が豊か	観光地の整備
	観光的見どころが多い	観光事業者の問題
	お祭りやイベントが多い ★★	観光地域の不便さ
イベントがある（2）	海の活用	
地域に文化がある（祭りなど）	海の活用	
催し物	商業施設等が充実していない ★★★★★★★★	
—	デパートがない	
	ショッピング	
	公共の課題（民の問題）	
	施設	
	買い物が不便	
	お店の閉店が早い	
	店のサービス	
	遊び場が少ない	
5 （自然環境・公園・都市景観など）	自然環境が豊か ★★★★★★★★★★★★	自然・環境 ★
	自然（4）	自然条件
	自然に恵まれている	環境の課題（2）
	自然環境が良い	環境利用
	自然が豊か（2）	美観
	自然環境がいい（2）	美観
	海がきれい	公園の整備
	天候が良い	公園の整備
	坂	—
	環境	
	景観がよい ★★★★★★	
	景観（3）	
	景色が良い	
	歴史的建造物等がたくさんある ★★★★★★★★	
歴史的建造物		
歴史的町並み		
古い建物がある		
建造物		
良い施設がある		
歴史のまち		

第1回 「おたる」のいいところ・わるいところ（資料②・タイトル）

	いいところ	わるいところ
その の 他	市役所 ★★	行政の力不足 ★★★★★★★★★★
	市役所（3）	市政
	市職員頑張れ！	役所
	街の雰囲気や人柄が良い ★★★★★★★★	行政の力不足
	人情（2）	市の対応（管理）
	人柄が良い（3）	市役所行政問題（2）
	人の良さ	市長と議会が・・・
	樽っ子気質	第2の夕張問題
	市民性	公共の課題（官の問題）
	風土	市民の質やマナーなどの課題 ★★★★★★
	魅力的な街	市民の質
	その他	樽っ子気質（2）
	芸能	町としてのマナー
	市の規模がちょうど良い！	地元の人が小樽に無関心
	その他	街並みとその人的要素について
		街の活性化人の流れをつくる
		公共施設 ★★★★★★
	公共	
	公共施設の整備	
	公共施設が古い（2）	
	施設	
	人口減少 ★★★★★★★★	
	人口減少（3）	
	若者減少	
	若者に魅力のある街ではない	
	その他	
	その他	

第2回 10年後、こんな「おたる」にしたい

【グループワークの概要】

参加者が6人ずつのグループに分かれ、第6次総合計画のテーマから、グループごとに2~3テーマを選び、各テーマに関して「こんなおたるにしたい、なってほしい」という意見を出し合い、近い意見をまとめてキャッチフレーズも考えました。

意見や投票数が多かったものを「広く共有される意見」として捉えると、概ね次のような「市民が望む小樽の将来像」が見えてきました。

<生涯学習>

「市民全体で子育てする教育環境が充実したまち。文化・スポーツ活動の環境が充実し、歴史・文化の活用でにぎわうまち」

<市民福祉>

「人のつながりが活発で、医療・介護体制などが充実した、高齢者をはじめ誰もが健康で活躍できるまち」

<子育て支援>

「産科や子ども・子育て世代向けの施設、支援制度が充実し、子育てしながら働ける環境の整った、安心して子どもを産み育てられるまち」

<生活基盤>

「除排雪や公共交通が充実した、全ての人にとってやさしく動きやすいまち。空き家の活用が進み、住環境が充実したまち」

<産業振興>

「企業誘致や起業家の育成、農水産業の振興などで雇用環境が良く、観光の更なる充実や港湾の活用などでブランド力のあるまち。若い世代にも魅力的な施設等が充実したまち」

<環境保全>

「海や山などの自然環境や景観が活用され、まちなかに公園や緑が充実した、みんなで環境を守る美しいまち」



第2回 10年後、こんな「おたる」にしたい

各グループの意見・キャッチフレーズを、中項目ごとに整理したものです。
右側の●印は、第3回で重要と思う意見に投票を行った結果の票数です。

生涯学習

中項目 (★は、グループでつくったキャッチフレーズ)	意見等の内容	投票結果
教育環境の充実	市民全体で子育てするまち	●
	特区 銭函地域に中高一貫校	
	清掃活動ボランティアを高齢者と交流しながら積極的に取り組む	●●
	教員の賃金の上昇（教員の疲弊の解消） 街をきれいに	●
歴史・文化を生かしたまちづくり	歴史的建造物の再発見（田上義也の建築物など）	
	歴史的建造物を活用して、学びながら人が集まる	●●●
	遺跡などの歴史財産を活用	
	運河の水をもっときれいにする 出身作家の文学館をつくる 遺産を生かそう	●
文化・芸術活動や生涯学習の充実	ジャズフェスティバルが定期的にかかれる	
	文化人の講演が充実（小樽出身の）	
	市民オーケストラが設立されて音楽会などが盛んになる 日常的な文化活動（気軽に参加できる再教育などの講座）	●●
スポーツ・レクリエーション環境の充実	市民プールなどのスポーツ施設が充実している	●
	交通の便のいいところにスポーツ施設が充実（プールなど）	●
	いろんな年代が運動できる場所がほしい	●
	利用しやすい施設が充実してほしい	
	スポーツ等合宿の誘致	
	小樽、後志地域を含めたスポーツ、レクリエーション	●
	小樽～札幌間のサイクリングロードと小樽に大きな公園のつながり	
	赤岩、子ども達のハイキングできるように	
	キャンプができる環境創り！	
	レジャー施設の充実！	
総合体育館、市民会議、市役所	●	

第2回 10年後、こんな「おたる」にしたい

市民福祉

中項目 (★は、グループでつくったキャッチフレーズ)	意見等の内容	投票結果
市民の交流を活性化し、人のつながりを活かしたまちづくり ★ボランティア団体のネットワークが良い街	公園で人が集まって運動などで交流している 市民カラオケ大会 子どもとお年寄がまちで集うまち 世代間の交流が活発(町会などの充実) 町会に若い人が加入している ボランティアのつながりが生かせるまち 独居でも安心	●● ● ●
介護など高齢者の生活支援の充実 ★老人・介護施設の充実	介護施設がある 高齢者施設的环境が整っている 老人施設 またなくても入れる 高齢者の入居施設 年金で入れる 介護職員の給料を上げる(介護職員の確保) 在宅介護が充実するためヘルパーが増えてほしい	●● ●
高齢者が健康で活躍できるまち ★高齢者もイキイキ・ウキウキ ★移動手段 ★高齢者が安心して元気にすごせる	高齢者のボランティアを活用するまち 高齢者は自分の出来る事は自分で 高齢者もっと働く場所を(町内会の活用(横のつながり)) ウイングベイで空いてるスペースでサロンとか遊べる場所 高齢者が集えるようなサロン 市民プールで高齢者や障害者が健康増進できる 安価な高齢者向けの住宅の充実 無農薬で安全な食事ができ元気で長生き 高齢者の冬 生活支援(特に移動) ふれあいバス拡充 使いやすさ 高齢福祉の充実(ふれあいバス・ふれあい収集の継続) 南小樽駅改善→市立病院 バリアフリー化	● ● ● ● ● ●● ●
誰もが健康に暮らせる医療体制 ★予防医療 ★医療費の低減	飲まないですむ薬はいただかない→(医療費の低減) メディカルチェックが気軽に受けられる ”予防”への取り組み 日々の健康管理(医療費の縮減) 町医と市立病院との連絡が良い	● ●
市民が主役のまちづくり ★市民の意識	他者意識の高い町づくり 市民皆があいさつが出来るまちになる。「おはよう!!」「こんにちは!!」 家庭、自己責任多々あるものでも市の責任にしすぎる。つらいです。	●
その他 ★移動手段	福祉制度に市税をもっと投入している社会 遊具が整っていて野球などが自由にできる公園が充実している ドッグランが増えている 札幌の地下鉄に合わせて小樽行きバスをおそくまで運行する スクールバスがコミュニティバスを回る 子供も老人もみんなが乗れる 雪と坂でも安心してくらせるまち それぞれの世代の満足度が高い 市政の特集号(こんな取組をやっている) 後志の人を受け入れる体制(宿泊施設etc) 修学旅行生が興味をもつような内容を学べるように 小樽の歴史を周知する 小樽オペラ座をつくる 福祉に頼らないまち 賃金が上昇すること 雇用の充実	●

第2回 10年後、こんな「おたる」にしたい

子育て支援（市民福祉から抜き出し）

中項目 (★は、グループでつくったキャッチフレーズ)	意見等の内容	投票結果
子育ての負担軽減 ★子どもからお年寄まで元気で暮らせる福祉と保障 消費税無料の「おたる特区」を！	子供の医療費負担軽減	
	子どもの医療費無料化	
	保育料の軽減	
	保育園が無料になって子育て世代がふえていく	
	子育てのための資金的な援助の充実	
	子どもへの手当てが厚い（教育、医療…）	●
	奨学金制度を充実させる	
	子育て世代に無料で空家を貸す	●
安心して子どもを生み育てられる環境づくり ★波の音を聴きながら産みませんか ★子育ての充実 ★産み育てる環境の充実	若者向けの安価な住宅の充実	●●
	子供を生み育てる為の医療機関の充実	●●●●
	産科、産婦人科の充実（5）	●
	小樽病院内で産婦人科が有る。子供センター等が有る。	●
	産婦人科による夜間と云うハードな仕事がある。	
	女性管理職の増加（子育てしながら働ける環境、社会）	
	子どもを安心して産める環境を（2）	
	保育所増、保育所の定員増（3）	
	駅に保育所を	
	保育士の確保、育成（2）	
	安心して児童保育ができる	
	子供ふれあいコーナ（スペース）がある（キッズコーナ）	
	子育てしやすい、したくなるまち	●●
	小樽で出産、子育てすることに魅力がある	●●●●
産科、保育所、学童保育の充実など子育てしやすいまち		
赤チャンほしい人、生みたい人が減少、市の責任じゃない		
子どもが健やかに育つ環境づくり ★地域みんなで子育て	児童図書館が充実している	
	子どもの通学を便利に！	
	通学路の確保	
	こどもが寄り道できるまちづくり（学校の充実）	
	学童の学力が全道一位となる	
	子供が沢山	
	2人兄弟、3人兄弟が多いまち	
	子供の笑い声が聞こえる街	
	集まれる場所	
	子どもでも安全な公園	●
	多世代交流するスペース	
運動できる施設 ワイングベイの駐車場とか		
キッズニア		
子供にやさしい街		
高齢者もっと働く場所を（子育ての支援）	●	
仕事と家庭の両立や結婚などへの支援	子育てしながら働ける環境、社会	●●●●●●
	働らく人も増 研修とかで訪問増 人がいっぱい来る	
	晩婚化の解消	●
	男女共結婚願望多いのにカップルに応援出来る様人口にもプラス	

第2回 10年後、こんな「おたる」にしたい

生活基盤(2)

中項目 (★は、グループでつくったキャッチフレーズ)	意見等の内容	投票結果
隅々まで、整備の行き届いた道路	小樽の統一（小樽全体で考えるしくみを） 道路の整備がいきとどいている 歩道が整備されている（旧道やスクールゾーン） 渋滞のない国道（5号線） 道路の排水がいい	
住宅・空き家 ★住環境が充実した街 ★永住したいまち 次世代も ★住みよい自慢したい街おたる！ ★すべての人にとって優しく動きやすいまち ★市街地が整備された街	家賃をもっと安く！（3） 安心な住居、市営住宅の充実 市営住宅の充実（空き家の活用） 市営住宅の充実（銭函地区）（2） 市営住宅の充実（若い人単身者用） 住環境が整備された街にしたい 住む人のためのまちづくり 外観ダメでも内はキレイ 危険は× 年代によって欲しい間取りがちがう 年配：小 子育て：広い 入れ替えて住むような仕組 郊外の大きい家 中心部のマンション 空き家の対策 シェアハウス、サロン 空き家解消したい 空き家スペースに病院に建ってる	●●● ●
地域環境づくり ★住環境が充実した街 ★子育てに困らない街 ★永住したいまち 次世代も	世代間交流ができるまち 高齢者が住みやすい 若い両親が安心できる子育て 魅力ある商店街、楽しいショッピング 自分達の街は自分達で作って行く気概に溢れた街 若者が一杯いる 子育て世代が多くまとまっているエリア 住民交流 町内住民、不満吸収PR	
防災・安全 ★永住したいまち 次世代も	治安の良いまち 災害が少ないことを発信して人を呼びこむ	●
清掃・環境 ★住みよい自慢したい街おたる！	ゴミのないきれいな街にしたい おいしい水が飲めるまち	●
その他	望洋ジャンプ台の活用してほしい	

第2回 10年後、こんな「おたる」にしたい

産業振興

中項目 (★は、グループでつかったキャッチフレーズ)	意見等の内容	投票結果 (グループ1)	投票結果 (グループ2)
企業誘致、新たな産業・起業家の育成 ★若い人に夢を与えられる街 おたる！ ★まちの魅力復活 ★そうだ！小樽駅に行ってみよう ★雇用の充実	企業誘致（４）		●●
	企業化しやすい町		
	起業家を育て雇用をふやす（２）	●●●	●●●
	地元企業の育成（TVによる参加）	●	
	中央バスと良好な関係（路線確保、利用促進 いっしょにまちづくり）	●●	
	風力・自然エネルギーを育成する		
雇用の創出 ★雇用の充実 ★雇用環境の充実	保育園を増す 福祉の仕事を増す		
	医者・看護師の雇用増加		
	働き場所が多くなってほしい 病院の方を含めて		
	若い方々が活動できる場とそれを支える体制		
	働き口の充実（大卒者でも…）		
	働き手が集まる町		
	働ける職場		
	観光土産品、製造（生産）工場での生産での雇用拡大		
	労働とレジャー、バランスよく生活できるまち	●	
	労働者の定着化を図る		
サービス業など3次産業の雇用の充実			
商業の活性化 ★まちの魅力復活	卸回地を作る		
	商店街が活性化している		
	商店街を整備して店を集約		
	市民重視の商業体制 安定	●	
農水産業の振興 ◆ ★水産業復活 ★雇用環境の充実	トドの排除		
	水産学部のある大学がある		
	魚貝類の養殖業		
	優秀な人材をつくる		
	専門的な高校や大学をつくる		
	漁師が増加		
	水産基地と加工産業が拡充している		
	農業・水産業を応援するまち	●	
農産物や水産物が一体となった直売所がある			
農産物の大工場生産			
地域ブランドの発信と活用 ★まちの魅力復活 ★小樽の魅力発信する観光 ★ブランド力のある街	銭函で「小樽」ということをアピール		
	音楽家が集まるまち		
	小樽イメージ、小樽らしさの統一とそれを活かした産業振興		●
	新幹線の駅まわりに特産品などの新しいブランドづくり		
	現行の取組だけに頼らず、新しい取組にも目を向けたまち（例えば寿司だけでなく…）	●	
小樽ブランドの輸出	●		
港湾を活かしたまちづくり ★若い人に夢を与えられる街 おたる！ ★ブランド力のある街 ★港湾施設の充実	港湾をいかした街づくり	●	●●
	海を活かした遊興施設		
	フェリー航路や外国船などがもっと増えている		
	フェリーに乗って小樽と北陸の人が婚活をする		
	フェリーに乗る人、車が増える。船のたびが人気に！！		
	クルーザーがいつも停泊している		
	港を活かす（中心部の近くにも大型船接岸）		
港を活かす（小樽港が活用されている）	●		
国際化への取組 ★小樽の魅力発信する観光 ★国際化小樽	外国の方が非常に街にあふれて観光を楽しんでいます。会話の勉強も希望カナ…と		
	ロシア貿易の拡大	●	
	海外企業がある町		
	銭函をインターナショナルな町とする、いろいろな国の人が居る町		
外国人観光客へのインフォメーションセンターの設立	●		

第2回 10年後、こんな「おたる」にしたい

産業振興(2)

中項目 (★は、グループでつくったキャッチフレーズ)	意見等の内容	投票結果 (グループ1)	投票結果 (グループ2)
観光の充実 ◆ ★若い人に夢を与えられる街 おたる！ ★まちの魅力復活 ★歴史・古い建物を大切にす街 ★観光資源の利点・体制をしっかりと ★小樽の魅力発信する観光 ★うまいっしょ小樽 ★古さと新しさがゆう合したまち小樽	水族館をいかした街づくり		
	リピーターが楽しめる更なる観光地の充実を目指す。		
	豊かな景色をPR		
	観光客向けの店は市内業者に		
	隠れた観光資源を生かす。鉄道博物館 うだつ など	●	
	歴史的建造物のツアーをひらく	●	
	トドのウォッチングツアー		
	歴史的建築物の保全	●	
	古い建物も手入れがゆきとどいているまち		
	自然がそのまま		
	夜型観光施設を充実させる	●	●
	小樽の自然の利点を活かした新しい観光等を体験、開拓していく	●	
	人の呼べる観光		
	バスツアーの充実(自然めぐり、歴史的名所)		
	小樽でなければ体験できない観光・サービス		
	奥沢水源地を活用してほしい(鮭子と)		
	郊外の観光資源(史跡)活用		
	外国人に対応できる観光(外国語で接客)		
	観光価格の排除		
	夜に観光客がいける良い店が増えてほしい		●●
人を呼びこめるようなおいしい食べ物			
素材の良さを活かして			
情報発信もっと知られた			
いいものを残して新しいものを取り入れて			
内装をおしゃれに			
観光地に活気			
にぎわいだけじゃなくいやし空間も			
観光マナーがもっと地元におちる仕掛け			
お祭りなどによるにぎわいづくり ★イベント(お祭り)がたくさんにぎわう街 ★小樽の魅力発信する観光	おまつり、イベントが続いている小樽	●	
	イベントの認知度が高い		●
	潮まつり、雪灯りの道とJR、中央バスと増便し観光客をプラス出来るカナ?!		
宿泊施設の充実 ★小樽の魅力発信する観光	滞在型観光都市へのホテルの充実		●
	多種の宿泊施設がたくさんある(安価や民泊なども)		
	大きなホテルがある町	●	
	宿泊施設増→雇用増 移住者も増		●
宿泊施設を今の倍に!		●●	
宿泊施設が多くなり、観光に来た方に泊まって頂く。		●●	
若い人が求める施設等の整備・充実 ★若い人に夢を与えられる街 おたる！ ★観光資源の利点・体制をしっかりと ★雇用環境の充実 ★そっだ!小樽の駅に行ってみよう ★まちの魅力復活 ★古さと新しさが融合したまち小樽	ラウンドワンやファミレスの誘致		
	若い人が定着できる環境整備の充実した街づくり		
	安全なレジャー施設のあるまち		
	若い人達と年寄りがバランス良く生活できる町		
	若者が遊ぶ場所		
	人口構成を三角形になる様若年層を増す		
	ファイターズ球場の誘致		
	複合施設にプールを 冬でも1日過ごせるような		
	複合図書館		
	買い物する場が魅力ある		
	商業施設の充実		
	ウイングベイの活用方法		
	ウイングベイなどを活かして		●●●●
	ボスフル⇒産学複合施設(市役所)		
	駅からのアクセスがいいところに複合施設		
	駅前に活気を		
	駅前にも人が居ない		
	小樽駅バス、タクシー車どうにか再開する		
道の駅ができて(地場産品販売)	●	●	
「道の駅」「海の駅」を合わせた建物が全国初で小樽に出来る	●		

第2回 10年後、こんな「おたる」にしたい

産業振興(3)

中項目 (★は、グループでつくったキャッチフレーズ)	意見等の内容	投票結果 (グループ1)	投票結果 (グループ2)
地域交通の維持・充実 ★小樽の魅力を発信する観光 ★レールの街	札幌在来線を維持・充実	●	
	モノレールを敷設して、イベント施設をつくる	●	
	在来線充実		
	人を楽しませる鉄道事業		
その他 ★小樽の魅力を発信する観光 ★若い人に夢を与えられる街 おたる！ ★まちの魅力復活	銭函地区の人たちが小樽市内で買い物しやすい		
	新規取組		
	食のパワーの核 駅前、築港		
	札幌の衛星都市になる 都市化		
	銭函地区が大きく変わる！！商店街が出来て住宅も増える。働く人にとって良い町		
	芸術の森への等々、マイクロバスで出席者へ声かけして車の持っていない人々に参加を希望します		
	行政区域の撤廃		
	現行二異業交流		
	空き地を活かす制度		
	市役所が力不足	●	
生活スタイルの変化 家の中での楽しみ少			



第2回 10年後、こんな「おたる」にしたい

環境保全

中項目 (★は、グループでつくったキャッチフレーズ)	意見等の内容	投票結果
自然（山、海(港)）を活かした街づくり ★自然環境を生かした街づくり ★市民参加の美しい社 ★公園の中にあるまち	自然遊歩道の設置（コース指定）	●
	散策ツアーならゲーム感覚でボランティア参加（ゴミひろい）	
	坂のまちでも住みよいみまち 自動リフトなど	
	天狗山に登って体験しよう！	
	小樽にある海岸線（ビーチ）の散策→（ビーチウォーク）	●
	海水浴場の整備→北海道一であるので（ボランティアでも可）	
	小樽朝里～銭函間の海岸線の保全と散策	●●
	海（港）の活用	●●
	マリンスポーツとかもっと海を活用して欲しい	●●
マリンフェスタなど海を活かしたイベント		
軍艦の入らないみなどまち		
安全・安心なみなど（観光船ホテル）		
自然環境の保全 ★自然環境を生かした街づくり ★公園の中にあるまち	空気がきれいなまち	●
	大気汚染の対策を中国に売る	
	現在（今）以上自然破壊ないように！！	
	海がもっときれいなまちにしたい	
	昔のままの自然環境の保全 塩谷・忍路港	●
景観・環境の美化 ★市民参加の美しい社 ★公園の中にあるまち	オタモイ・祝津海岸の遊歩道	●
	ゴミ拾いボランティアを広い世代で行う	●
	ゴミ拾いを犯罪者の改善プログラムに	●
街なかに公園や緑が充実したまち ★自然環境を生かした街づくり ★市民参加の美しい社 ★公園の中にあるまち	自然環境、都市環境は最後の財産 次世代に引き継げるまち	●
	緑がいっぱいの公園の整備を望む！	●
	公園が多い	●
	公園の中にまちがある考え方を広げる	
	空き地を大きな公園に	
	空き店舗で公園のような遊び場をつくる	
	緑の豊かな公園の充実（人々がくつろげる子供が遊べる）	
	市役所と地域の人たちが協力し合って公園を整備	
	街なかに緑を！	
	公園に広い駐車場を 道の駅も！	
	公園も含めて街なかをもっと散策できるまち（スタンプカードなど）	
公園のトイレを整備！利用者増！		
ボランティア交通費くらい補填を！公園をきれいに！		
お年寄りの健康増進 生きがいになる		
景観を活かしたまちづくり ★自然環境を生かした街づくり ★公園の中にあるまち	夜景は素晴らしい！！	
	歴史的建造物を残そう（2）	
	歴史的建造物の活用（2）	
	展望台へのアクセス	●
	資源循環 銭函工業団地で	●
	空き地・空き家の活用	●

第3回 10年後の「おたる」を提案しよう

【グループワークの概要】

参加者がテーマごとに分かれ、第2回の意見（10年後、こんな「おたる」にしたい）のうち、重要と思うものを投票で選び、それを実現するためのアイデアを地図に貼って実施場所などもイメージしながら話し合い、その内容を発表しました。

資料左側の「地区」は、それぞれの意見について想定した実施場所を表しています。

発表された話し合いの主な内容は次のとおりで、今後掘り下げていくべきことが絞られてきました。また、多世代交流、空き家の活用、交通などの共通項も見られました。

<生涯学習>

歴史的建造物の活用策として、見学ツアーの充実や住民向け見学会など。市民全体で子育てする具体策として、若者と高齢者が交流する場や働く女性への支援など。

<市民福祉>

子どもとお年寄りが交流する場や、年金で入れる施設、除雪・交通など高齢者の冬場の生活支援を望む。

<子育て支援>

病院のこと、小さい子ばかりでなく中高生が遊べる環境、おじいちゃんおばあちゃん世代に子どもをみてもらう、空き家の活用など。

<生活基盤>

バスは便利・不便両方の意見があったが、不便を感じる人のための対応を考える必要がある。空き家は市営住宅や民泊に活用してはどうか。

<産業振興 1>

起業家育成のため、空き地の利用や資金の補助、情報の収集・発信などを。

<産業振興 2>

大型商業施設に市役所や有名ブランドを入れて活性化を。企業誘致は銭函だと札幌に住むので長橋が良い。夜の観光充実のため、2日かけて市内を巡るルートを、など。

<環境保全>

マリンスポーツや海水浴場の整備を進めると良いのでは。銭函から張碓の海が評価されている。行政に頼らず自分たちで未来づくりをしたい。

第3回 10年後の「おたる」を提案しよう

生涯学習(中心部)

黄色(何をするか)

地区	意見など
なし	総合、複合施設ができれば、後志管内からも全国からも人を呼び込める(競技会等)
なし	ウォーキング兼のごみひろい 地域清掃隊の提案
なし	市民協働で美しい街づくりを
なし	市がすすめる元気体探大推進
なし	安く利用できる施設が欲しい(文化活動)
なし	町内会活動の活性化
なし	若者・お年寄りの交流の場
なし	町ごとの意見集約
なし	女性労働者の保育の場
中央	ナショナルトラストのような組織を作って保存・活用する
中央	知人を連れ自分で説明して歩く
中央	自分でできることを市民に広める
山手	耐震化した総合体育館、市民会館、市役所の整備を

桃色(誰が、どうやって)

地区	意見など
中央	参加条件等を検討して方策を探す それくらい市役所等がやってもよいと思う。あとは暇になった老人がたくさんいるので、ほとんどボランティアでも管理できるよう募る。寄附、補助金を集める。国内、海外の例を勉強せよ。市役所、民間
中央	市民有志で自発的に

生涯学習(全域)

黄色(何をするか)

地区	意見など
塩谷	遺跡公園(整備)と農産物直売所の連携した地域興し
なし	ゴミ問題は時間がかかるが小学生への教育を徹底する
なし	きれいなゴミのない街づくりキャンペーン
なし	ツアーの充実 国、道の補助金取得へ 建物を利用した店舗 郷土愛 建物保存
なし	地域の歴史的建造物を紹介して住民の見学会企画
なし	季節による優れた景観地紹介 桜、夏、秋、雪
なし	歴史的建造物人気投票の結果表示ベスト〇〇〇とか

桃色(誰が、どうやって)

地区	意見など
なし	ゴミ問題 小学校の教員に子どもに徹底的にゴミを捨てないことを教える
なし	シルバー人材センターを活用
なし	行政のノウハウを活用
なし	行政担当者からの提案 町内会への案内
なし	観光ガイドさんと協力
なし	市民有志の会

<発表の概要>

- 「歴史文化を活かしたまちづくり」に関して、「歴史的建造物の活用」策ということで、見学ツアーの充実や、地域の歴史的建造物を紹介して住民向けの見学会を企画する、季節ごとに優れた景観地を紹介したり、人気投票の実施など、観光ガイドや行政担当者、町内会、市民の有志の会などが推進したら良いのではないか。
- 「市民全体で子育てするまちづくり」の具体策として、町内会を充実させることで、若者と高齢者の方が交流する場を増やし、働く女性への支援として、仕事をしている間の子育てを高齢者の方に協力していただくというのが有効ではないか。
- ゴミの問題は、ゴミを拾うだけではなく、花壇も充実するなど美しいまちづくりをしながらゴミをなくしていくというのが目指すべき姿である。

市民福祉(中心部)

黄色(何をするか)

地区	意見など
なし	築港の団地 かもめ団地(高齢者専用団地)
なし	助成金(結婚、出産)
なし	海上自衛隊の助け(高齢者)市営で無料タクシーバス
中央	子供達がお年寄りの昔の話を聞く 産業会館
中央	商店街などで休けいスペースを設けて誰でも利用できるようにする
中央	コミュニティセンターの拡充(イベントの開催)
なし	ラジオ体操、ボランティア活動(臨海公園、手宮公園)

桃色(誰が、どうやって)

地区	意見など
なし	引越し助成金など
中央	NPO等
中央	老人に声かけをして外へ出て来たらう。来れない人はボランティアが行く。
中央	ボランティアの活用(室内の遊び、運動)
なし	イベント、お祭りみたい

市民福祉(全域)

黄色(何をするか)

地区	意見など
南小樽	高齢者専用団地
なし	除雪ロードヒーティングの充実
なし	家から商業施設までの送迎サービス(バス、タクシー)
なし	除雪の支援について
なし	除雪道路
なし	除雪機やロードヒーティング 屋根対策 融雪溝etcへ援助金
なし	暖房への支援
なし	除排雪道路
なし	老人施設と近所の保育園、幼稚園や小中学校、高校との交流

桃色(誰が、どうやって)

地区	意見など
なし	廃校した小・中学校の活用

<発表の概要>

- 子どもとお年寄りが交流する場があったらいい。子どもがお年寄りの体験や知恵を学び、お年寄りにとっても、刺激になって元気になる。
- 年金で入れる老人施設が是非ほしい、ということが切実なこととしてある。
- 高齢者の冬の生活支援、具体的には生活道路の除排雪、冬場の足。高齢ドライバーの事故が問題になっていることから、バスやタクシーが安価に、もしくは無料で、コミュニティバスのように回って、巡回できるシステムがあるといい。

第4回～第5回 アクションプラン

【グループワークの概要】

第4回から第5回にかけて、目指すまちの姿を実現するための具体策として、10の「アクションプラン」を作成しました。

第4回では、前回の意見を基に具体化したい取組を絞って、「5W1H（なぜ・なにを・だれが・いつ・どこで・どうする）」の枠組みで肉付けし、その内容の発表と意見交換を行いました。

第5回では、更に意見の追加などを行って資料の形に仕上げ、最終発表と投票を行いました。

アクションプラン①

歴史的建造物の活用

～ 歴史的建造物を活かして、学びながら人が集まるまち ～

アクションプラン②

市民全体で子育てするまちづくり

アクションプラン③

高齢者が安心して暮らせる環境づくり

～ 高齢者の冬の生活支援 ～

アクションプラン④

高齢者が安心して暮らせる環境づくり

～ 子どもとお年寄りが交流する場 ～

アクションプラン⑤

市民全体で子育てするまちづくり

～ ママも子どもも集える場所をつくろう！！ ～

アクションプラン⑥

空き家の活用

アクションプラン⑦

企業誘致や起業家の育成

～ 起業家を育成するために ～

アクションプラン⑧

企業誘致や起業家の育成

～ 効果的な企業誘致の推進 ～

アクションプラン⑨

新しい観光の開発

アクションプラン⑩

海や海岸など自然を活かしたまちづくり

歴史的建造物の活用

～ 歴史的建造物を活かして、学びながら人が集まるまち ～

現状と課題

- 歴史的建造物等がたくさんあるけど、活かしてきていないのでは
- 子ども・若者の減少が大きな問題
- 若者にとって魅力的なまちにすることが課題



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物に興味がない子どもや若者を歴史的建造物に導いて、小樽を活性化 する。 ・見学ツアーなどは、興味のある人しか参加しないと思われるため、もっと広がりを持たせたい。 ○若い世代の小樽の歴史への理解を深め、後世に歴史的建造物を残す。
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物で、子ども・若者が楽しめるイベントを実施 ・「ライブをやる」「学校祭で使う」「クリスマスイベント」「芸術家を呼んで、建物の前や中でアートイベント」「芸術教室」など ○歴史的建造物（遺跡も含め）と隠れた名所の観光MAPづくり ○地域別のおすすめコースの作成 ○歴史的建造物とあわせた「港関係施設」「鉄道関係施設」の紹介 ・鉄道記念館中心に鉄道発祥の地を学ぶイベントを開催 ○歴史的建造物を道の駅に整備
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物でのイベントについて ・市民がボランティアでイベントの運営に参加 ・行政や企業が資金援助 ・ニトリ芸術村を核に ・旧日本郵船と、その前の運河公園も想定 ・芸術家を集め、歴史的建造物・空き家・廃校等を安く貸し、芸術の発表・販売等に利用して、芸術を売りにする。また、日常的な利用として、芸術教室を開く。 ○観光MAPなどについて ・MAPなどの配り方の工夫を ・メイン通り以外の紹介・PR
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<div data-bbox="1075 1664 1406 2011" data-label="Figure"> </div>

市民全体で子育てするまちづくり

現状と課題

- 子ども・若者の減少が大きな問題で、教育や子育て環境の充実が課題
- 豊富な知識・経験を持つ元気な高齢者が多い



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達の将来のために、市民全体で子どもの健全育成をサポートする。 ○子どもの育成と、高齢者の生きがいづくりを一体で考える。
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○若者・子どもと高齢者の方が交流する場を増やす。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが高齢者から教わるだけでなく、逆に子供が得意なもの（パソコン、スマホ、スポーツなど）を教えて、双方向の交流をする。 ○子どもの居場所をつくる ○大人と子どものつながりを持てるイベントを行う <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ祭、職場体験など ○子どもを預けて働ける環境づくり ○科学館での科学教室や、図書館で本に親しむ取組などを、市民の協力で充実させる。
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○若者・子どもと高齢者の交流 <ul style="list-style-type: none"> ・町内会を充実させ、子ども向けレクリエーション、子どもみこしなどを実施 ・町内会を充実させるには、入会のPRなどの対策が必要 ○子どもの居場所 <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育（放課後児童クラブ）のようなものを地域でつくり、市民がボランティアで運営に参加する。 ・高齢者や大学生に勉強をみてもらおう ・子ども食堂の拡大（学生などのボランティアが担い手となる） ○実施場所は、市の施設（教育施設、空き教室など）も活用する
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<div data-bbox="1155 1641 1485 1989" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">参加者による投票の結果</p> </div>

高齢者が安心して暮らせる環境づくり

～ 高齢者の冬の生活支援 ～

現状と課題

- 高齢化の進行で、健康で安心・安全な暮らしへの関心が高まっている
- 冬場の除雪や、買物などの移動が大変
- 交通は便利な所も不便な所もある

それならこうしてみよう！



<p>目的・ねらい</p>	<p>○除雪や外出など、高齢者の冬の生活を支援して、住み慣れた地域で安心して住み続けられるようにするため</p>
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の一人住まいの家の除雪 ○冬に集まれる場所をつくり、健康的な食事をみんなで一緒に ○町内会などで行っている良い取組を紹介して、ほかの地域にも広める ○高齢者の健康づくり教室を開催 ○買い物や通院などの移動手段として、会員制のコミュニティバスを運行する。
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○町内会が皆でお金を集めて除雪を実施 ○「集まれる場所」は、町内会館や空き家などを利用 ○町内主導でやってもらう ○まず、全体で集まって「体操」などを覚えて自宅でやってもらう
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<p>○除雪だけでなく、歩道の整備や道路の維持補修をしっかりとって、歩きやすくすることも大事。</p> <div data-bbox="1075 1659 1406 2007" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div>

高齢者が安心して暮らせる環境づくり ～ 子どもとお年寄りが交流する場 ～

現状と課題

- 少子高齢化が進んでおり、子育て支援の充実や、健康で安心・安全な暮らしの確保が課題
- 豊富な知識・経験を持つ元気な高齢者が多い
- 地域のつながりが希薄になってきている



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもに手足を動かす遊びの楽しさを知ってもらう ○子どもが高齢者の体験や知恵を学び、高齢者は刺激を受けて元気になる ○地域のつながりを強めることで、安心して暮らせるようになる
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童クラブに高齢者が参加する <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が昔の遊び（竹とんぼ・お手玉など）を教える ・合唱も ○子どもと高齢者の運動会を開催 ○地域の有資格者の活躍の場を作る ○子ども・若者がパソコンやスマホを高齢者に教える
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO やボランティアと地域（町内会など）が連携して行う ○有資格者（元教員・保育士など）が、会の運営や子どもとの関わり方の指導役となる ○実施場所として、地域のコミュニティセンターを確保する
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<div style="text-align: right;"> <p style="font-size: small;">参加者による投票の結果</p> </div>

市民全体で子育てするまちづくり ～ ママも子どもも集える場所をつくろう!! ～

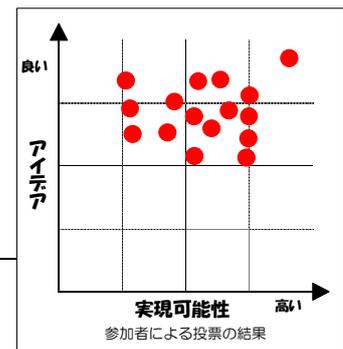
現状と課題

- 子ども・若者の減少が大きな問題で、教育や子育て環境の充実が課題
- 子どもが小さいときはママが家で孤立しがち
- 現状、ママたちの情報交換の場が少ない
- 保育士不足と言われているが、保育士の資格を持っている人はたくさんいる



それならこうしてみよう!

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○孤立感の軽減や、外出しやすくすることで、楽しく子育てできるようになり、子育て世代の居住満足度を向上させる。 ○学生が子供に関わる機会を設け、子育てに前向きになる意識を醸成する。
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援のための多目的に使える、託児機能付きの交流スペースを、アクセスの良い場所に開設する。 <ul style="list-style-type: none"> ・託児により、子どもを預けて買物などができるようにする。 ・アクセスの良さが大切。夏は歩けるけど、冬は移動が大変。バス代もかかる。 ・子育てに関する情報を集めること ・子どもを育ててる人へのバス券 ・市の施設が駅前に集まっていると良い(図書館、託児施設、映画館など) ・まずは、すぐに取り組むこと! ○交流スペースでの実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・母子で集い、情報交換できる「ママカフェ」 ・食育などのワークショップ ・子どもの学習支援 ・子供向けのイベント ○子育て支援施設が点在しているので、集約して使いやすく
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○開設は市で。安心感があり、他の事業との連携もできる。 ○運営はNPOや企業等に委託する。 ○運営スタッフ <ul style="list-style-type: none"> ・託児は、フルタイム勤務は難しい潜在保育士が、短時間勤務で ・保育・看護を学ぶ学生には小さい子のお世話、一般の高校～大学生には食育やイベント企画など、地域の年配の方には昔遊びなどで関わってもらおう。 ○平日の日中は、ママカフェを実施(週3回くらい)し、週末は主にイベントスペースとして使用 ○場所は、まずは小樽駅前のビルの空きテナントや付近の空き店舗などアクセスの良いところで開始。うまくいったらウイングベイの空きテナントでも展開。 <ul style="list-style-type: none"> ・車を運転しない人も利用しやすいよう、交通の便が重要 ○将来的に、駅前の再開発をする場合には、公共性の高い色々な機能を集約した複合ビルを建て、その中に多機能子育て支援施設も設置する。
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市との連携協定により、科学大の授業で掘り下げることも可能です!



空き家の活用

現状と課題

- 全国では約6件に1件が空き家。そのうち使える空き家は2～3割程度と言われている。
- 活用希望者が不動産業者で入手できる情報だけでは不十分と思われる。



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の流れを活発にして、空き家と活用希望者とのマッチングを促進し、地域の衰退と人口減を防ぐ。 ○空き家の放置による生活環境や景観の悪化を防ぐ。
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域全体で空き家と活用希望の情報収集・発信をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・活用は、企業に貸して、事業に使ってもらうのが一番有望ではないか ※民泊や市営住宅としての活用も検討したが、民泊は法が出来たばかりで動向を見定める必要があり、市営住宅は市で現在できることとして「既存借上公営住宅」を始めたところなので、ここでは掘り下げないこととした。
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○官民一体（市・不動産業者・商工会議所・町内会など）の協議会を作り、それぞれが空き家情報や活用希望情報を集め、マッチングや、情報発信をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信は、インターネットのほか、町内会回覧板、コンビニなどで細かく情報を発信する。 ・市や商工会議所では、起業を考えている人の「こういう事業をやってみたいが適した施設はあるか」など、空き家活用の潜在ニーズを把握する。 ・町内会は、地域の空き家情報や、子育て世代のコミュニティスペースなどの活用希望の把握をする。 ○収集した物件情報によっては、市が借り上げて安く貸すことも考える。
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<p>市民の憩いの場 起業のための講座 海外旅行者（企業の人）へアンケート（代理店） 固定資産税の免除 企業の保養所 介護施設</p> <div data-bbox="1155 1653 1485 1998" style="float: right;"> </div>

企業誘致や起業家の育成 ～ 起業家を育成するために ～

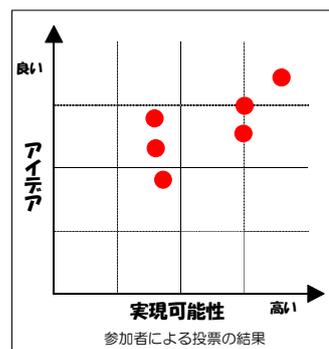
現状と課題

- 人口減少、特に若者の減少が大きな問題で、雇用・仕事の確保が重要課題
- 市内の学生に、小樽の産業・企業があまり知られていない



それならこうしてみよう！

目的・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○学生時代から仕事を身近に感じることで起業等の意識を高める ○人口増による小樽の活性化のため。また、その市民意識の醸成のため
こんなことをしてみよう (取組の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○職業体験をもっと増やす(小～高校) <ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した授業を増やす ○産・官・学が一体で、起業に関する情報を集約し、人材育成～起業～成功までを一元的に支援する組織をつくり、学生や市民のアイデアを利用できるように窓口を一本化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・大学の勉強・発表などで芽生えた「やってみたい」で終わらせないため ・学生のビジネスアイデア、空き家の物件情報などの情報を集約 ・資金援助の仕組みづくりも必要 ○「小樽で起業家募集」の懸賞を行い、市内・市外から起業希望者を募集し、当選者に資金などの支援をする。
こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)	<ul style="list-style-type: none"> ○職業体験の充実について <ul style="list-style-type: none"> ・市が教育委員会に働きかけ、学校の授業として ・NPOとの連携 ・大学、高校で単位とする ・受入れ企業への支援
そのほかの意見・アイデア	組織をどうするかが一番大事



企業誘致や起業家の育成 ～ 効果的な企業誘致の推進 ～

現状と課題

- 人口減少、特に若者の減少が大きな問題で、雇用・仕事の確保が重要課題
- 企業誘致は、業種などを絞り込んだ方が効果的と思われる
- AIなどIT産業は、成長分野であり、若者に比較的人気の職種
- 小樽には、地場産業のさまざまな技術の集積がある



それならこうしてみよう！

<p style="text-align: center;">目的・ ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○人口増による小樽の活性化のため。また、その市民意識の醸成のため ○若者をターゲットにした新たな小樽の地場産業を生み、今ある地場産業の蓄積された技術との互惠関係を目指す
<p style="text-align: center;">こんなことを してみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○AIなどIT産業の企業誘致 ○小樽の持っているものに関連する企業を誘致する
<p style="text-align: center;">こうやって 実行しよう (誰が・どこで・ どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○IT企業の誘致場所 <ul style="list-style-type: none"> ・企業が集積があり、ロボットなどIT技術に取り組んでいる職業能力開発大学校との連携もできる銭函工業団地 ・市内居住促進の観点で、高島・祝津のなどの空き地や学校跡 ・街なかの空き店舗 ○市役所・商工会議所・青年会議所が連携して、情報発信や誘致活動 ○世界の企業に小樽の情報を発信するキャンペーンを行う ○民間企業と大学（能開大・商大・科学大）がタッグを組む ○交通のアクセスを良くして、操業の環境を整える
<p style="text-align: center;">そのほかの 意見・アイデア</p>	<p>組織をどうするかが一番大事</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: small;">参加者による投票の結果</p> </div>

新しい観光の開発

現状と課題

- 観光は小樽の主要産業で、国も成長産業と位置付け、力を入れている
- 今の小樽観光は、運河・堺町通りを中心とした、限定的な観光資源しか生かされていない
- 通過型観光に留まらず、滞在型観光にしていくことが課題



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○観光を活かして小樽の活性化 ○観光客滞在時間を延ばす。リピーターを増やす
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい観光資源の開発と、既存の資源の再利用・見直し(“点”を“線”に) <ul style="list-style-type: none"> ・市内のお寺(神社)めぐり ⇒ 小樽歴史ツアー ・個人所有の石造り倉庫の保全 ・旧手宮線にトロッコ列車を走らせる ・山、海、川など自然を活かした観光振興 ・道路に、有名建築物や飲食店などに導く足跡をつける ○宿泊を促す観光の開発(夜型・朝型) <ul style="list-style-type: none"> ・運河公園など北運河周辺のライトアップやイルミネーション ・函館のような朝市 ○小樽近郊の地域とこれまで以上に連携しブランド力を向上させる
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい観光資源の開発は、市民を集めた特命チームで ○市、商工会議所、大学、民間企業(市内・市外)などが、情報共有し、まとまって情報発信
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<div data-bbox="1082 1675 1417 2020" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">参加者による投票の結果</p> </div>

海や海岸など自然を活かしたまちづくり

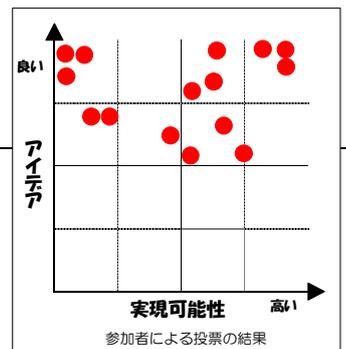
現状と課題

- 海や山など自然環境に恵まれている
- 今のまちなみや環境が作られてきた歴史がある
- 恵まれた自然環境をまちづくりへ活用
- 今の環境を今後どうやって保っていくか



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の立地の活用 ○積丹半島の美を多くの人に知らせる ○四季を通して活用 ○小樽の環境の良さを市民の人たちにわかってもらう
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○海岸線の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・張碓から銭函の海岸線をPR ・ビーチウォーク ・海岸線（オタモイ）遊歩道の整備 ・写真コンテスト等を行う ○四季を通して活用 <ul style="list-style-type: none"> ・天狗山、春香山など 名水奥沢水源地 ○歴史を知る
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○運営 <ul style="list-style-type: none"> ・市民有志らによる実行委員会やNPO団体 ・積丹～石狩まで他のまちの市民と連携する ・整備に関することは、国、道、市で取り組む ○意識啓発等の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・市民フォーラム 講演会 セミナー シンポジウム 環境教育 (小樽の自然の素晴らしさや、環境の大切さを再認識) ← 外から見た小樽 ○ビーチウォーク <ul style="list-style-type: none"> ・四季のゴミ拾い ・ビーチウォークのコース設定 ○環境保全、整備 <ul style="list-style-type: none"> ・奥沢水源地の保全 ・天狗山遊園地の整備 ・全国の小樽関係者にクラウドファンディング寄附を募る(小樽の自然環境保全のため)
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○(海岸)観光船の運航(観光産業の誘致) ○環境関連企業を銭函地区に誘致



小樽市民会議 100 報告書

平成 30 年 1 月発行

■編集 小樽市総務部企画政策室
小樽市花園 2 丁目 12 番 1 号
TEL : 0134-32-4111
E-mail : kikaku@city.otaru.lg.jp

この事業はサマージャンボ宝くじ(市町村振興宝くじ)の収益金の助成を受けて実施しています。

